

令和5年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市戸塚区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

地域における福祉保健活動の拠点として、利用団体が活動しやすい環境づくりに取り組んだ。利用調整会議や窓口満足度調査を実施し、利用団体からの意見を取り入れました。地域の「ネットワーク」を広げていくために、「ボランティア・市民活動推進分科会」、「社会福祉法人地域つながる連絡会」を開催し、関係性の構築に努めた。

(2)拠点の利用促進に関すること

福祉保健活動拠点が万遍なく利用が促進されるように、ホームページや広報誌（社協とつか）等を活用して、積極的な情報発信をした。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	388	438	158	91	93.4	57.4
多目的研修室	174	185	148	71.3	75.8	60.7
点字製作室	85	144	59	34.8	59.0	24.2
録音室	100	148	48	41.0	60.7	19.7
対面朗読室	131	150	70	53.7	61.5	28.7

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	170	129	9	91.6	77.5	9
多目的研修室	68	73	8	66	70.5	8
点字製作室	8	18	0	7.5	17.6	0
録音室	17	77	36	16.3	74.3	36
対面朗読室	29	25	2	28.7	24.8	16.3

(3)拠点のサービスの向上に関すること

業務上の改善や利便性を高めるために職員ミーティングを定期的に行い、情報共有の徹底を図り、意見交換を行った。窓口満足度調査や利用調整会議をとおして利用者・団体の意見をもとに職員間で検討し、サービスの向上に関する対応を徹底した。コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、消毒を任意にし、利用者負担を軽減した。拠点の抽選申し込みは FAX だけではなく希望する団体からメールでの受付も開始した。

(4)利用調整会議等の開催

利用調整会議を対面形式で行った。拠点利用についての利用説明と団体から意見・要望を収集し、福祉保健活動拠点の公平かつ適切な利用に繋げた。

開催実績	1
参加団体数	29

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

コロナ禍で高齢者施設等からボランティア依頼がない中であつたが、令和5年度再度戸塚区内の高齢・障がい・児童分野の施設に聞き取りを行った。再開をするところも多く、ボランティアの活動の場が広がった。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

ボランティアセンターの広報紙を年4回発行し、登録者等への郵送、公共施設への配架、ホームページへの掲載により、情報発信を積極的に行った。

各施設へ聞き取りを行い、依頼先一覧を A3 で作成することで、分かりやすい情報を出せるように努めた。

相談対応の際には、ニーズに応じ、情報を選別し、適切な情報提供を行うとともに、拠点内にあるボランティア情報提供のためのパンフレットコーナー・掲示板について、随時更新し、新しい情報が手に取れるように心がけた。

また、FM とつかで、ボランティアセンターの紹介等を行った。

区民活動センターとも連携し、共催の講座やボランティア関係事業について情報交換を行い、お互いのボランティアコーディネートに活かしている。

(3)ボランティアに関する相談、紹介

令和5年度より依頼を再開した施設が増加し、ボランティアに紹介できる活動が増え、マッチングすることが出来た。施設側の職員の異動もあり、ボランティアを初めて受入れする方も多くいたため、受入れにあたり注意いただきたいことなど、丁寧に説明を行った。

障がい児・者関連のケースについては、移動情報センターとも適宜情報交換を行い、登録ボランティアを紹介する等、区社協全体として地域の相談対応にあたった。

登録人数	個人	新規	47
		累計	406
	団体	新規	2
		累計	52
相談件数			2,420
依頼件数			141
紹介人数			187
調整数			2,150

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

区民活動センターと共催し、ボランティア初心者向けに、ボランティア活動紹介や基礎知識について知る講座を各月で開催。
 その他、戸塚区聴覚障害者協会との入門手話講習会やボランティア活動者を集めたボランティアのつどい等を実施した。
 また、本会のボランティア分科会・市民活動推進分科会 合同分科会は、年2回開催の他、合同分科会として研修1回開催し、会員同士の交流や情報共有を図ることができた。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

誰もが安心して自分らしく暮せる地域社会をつくりだすため、各種連絡会や交流事業の開催を通じて地域の活動団体、組織ボランティア団体、社会福祉法人等と連携を図った。
 また重層的に連携・協働した取り組みができるよう、ネットワークの構築と多種多様な地域課題の解決に努めた。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

地域住民や様々な団体・施設・関係機関等の参画を得て、「ボランティア・市民活動推進分科会」、「社会福祉法人地域つながる連絡会」などを実施することにより、地域の福祉保健課題の把握とその解決の仕組みづくりに努めた。

4 その他

(1) 職員体制、育成

毎朝夕にミーティングを行い、拠点の引継ぎ事項を確認し、全職員が共通認識を持つように心がけた。
 拠点職員は業務日誌に記録することで日中と夜間の職員交替時の業務引継ぎや連絡事項を共有した。
 また、職員育成のため、職員全体研修を実施し、個人情報保護やリスクマネジメントについて学んだ。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

午前9時～午後9時（月～土）

午前9時～午後5時（日・祝）

<休館日>

年末年始：12月29日～1月3日

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

- ・電気工作物点検（年次・月次） 年1回・隔月1回
- ・エレベーター点検 年4回
- ・消防設備点検 年2回
- ・自動ドア整備 年2回
- ・空調設備清掃点検 年1回

<清掃業務について>

毎日の日常清掃の他、年4回定期清掃を実施することで、快適に拠点を利用できる環境を整えた。

<警備業務について>

館内・外から事故や犯罪の発生する要因を排除することにより、未然に事故や犯罪を防止した。また、職員による夜間の巡回（1日1回）を行い、機械警備を契約して閉館時の侵入者を察知・自動通報する警備システムを設置することで閉館後の防犯・安全に努めた。

<外構施設について>

誰もが利用しやすい施設を意識し、季節の花々を植えた花壇の管理や外用掲示板の有効活用を行った。また、路上駐車対策を行い、近隣住民へ迷惑がかからないよう定期的に見回りを行った。

イ 苦情受付体制について

<受付体制・方法・対応準>

「横浜市戸塚区社会福祉協議会 苦情解決規程」に沿って、苦情解決責任者及び苦情受付担当者を置き、苦情解決に関する速やかな対応に努めた。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

区社協の運営するホームページ内に苦情解決規程を掲載し、拠点受付に苦情解決責任者・苦情受付担当者名を掲載して広く市民へ苦情解決の取り組みを周知した。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

＜職員の役割分担＞

災害時の初期消火・避難誘導・通報等の担当を定め、災害時の迅速な対応が出来るように努めた。また、年2回の防災訓練を実施した。

＜地域や他機関との連携体制＞

危機管理マニュアルの活用と関係機関への連絡・通報を迅速に行った。拠点利用団体を対象とした防災訓練（避難経路の確認、消火訓練等）を年2回行った。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報保護に関する条例」及び「社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報の保護に努めた。取組については「個人情報保護に関する方針」及び各種事業ごとの「個人情報取扱業務概要説明書」を拠点窓口で周知し、区社協ホームページでも公開した。また、職員を対象とした「個人情報取り扱い研修」を行った。

オ 環境への配慮及び取組について

＜ごみの発生抑制に関する取組＞

紙類を含めたごみの分別や詰め替え式事務用品の活用によるごみの減量化に努めた。

利用者に対しては、ごみは持ち帰りとし、館内の掲示板や利用調整会議等で周知徹底した。

＜再利用・再使用に関する取組＞

裏紙の利用促進や詰め替え式消耗品の活用に努めた。

＜リサイクルに関する取組＞

物品の購入について、リサイクル可能品を重視、購入に努めた。

また、横浜市の分別ルールに沿って古紙再利用などのリサイクルを行った。

＜温室効果ガス排出抑制への取り組み＞

拠点内各所や空調機リモコンよこに、適切な室温設定への協力を呼びかける掲示をすることで利用者に広く協力・周知を図り、節電に努めた。

令和5年度 横浜市戸塚区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,358,000	0	16,358,000	16,847,139	489,139	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)	0	0	0	0	0	
雑入	220,000	0	220,000	224,175	4,175	
印刷代	200,000	0	200,000	189,760	10,240	
自動販売機手数料	20,000	0	20,000	34,415	14,415	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	16,578,000	0	16,578,000	17,071,314	493,314	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,431,000	0	9,431,000	10,171,881	△ 740,881	
給与・賃金	8,805,000	0	8,805,000	9,007,807	△ 202,807	
社会保険料	550,000	0	550,000	555,634	△ 5,634	
通勤手当	70,000	0	70,000	406,240	△ 336,240	
健康診断費	0	0	0	6,600	△ 6,600	
勤労者福祉共済掛金	6,000	0	6,000	6,000	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	189,600	△ 189,600	
事務費	1,979,000	0	1,979,000	1,985,862	△ 6,862	
旅費	2,000	0	2,000	0	2,000	
消耗品費	315,000	0	315,000	424,982	△ 109,982	
会議ठी費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	10,000	0	10,000	52,800	△ 42,800	
通信費	143,000	0	143,000	151,126	△ 8,126	
使用料及び賃借料	22,000	0	22,000	21,120	880	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	22,000	0	22,000	21,120	880	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	290,000	0	290,000	31,900	258,100	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000	0	5,000	4,100	900	
職員等研修費	0	0	0	0	0	
振込手数料	24,000	0	24,000	16,610	7,390	
リース料	308,000	0	308,000	305,844	2,156	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	860,000	0	860,000	977,380	△ 117,380	
事業費	500,000	0	500,000	500,000	0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	500,000	0	500,000	500,000	0	
管理費	4,668,000	0	4,668,000	4,178,361	489,639	
光熱水費	1,734,000	0	1,734,000	1,195,835	538,165	
清掃費	2,000,000	0	2,000,000	1,968,175	31,825	
修繕費	300,000	0	300,000	64,790	235,210	
機械警備費	192,000	0	192,000	191,400	600	
設備保全費	442,000	0	442,000	71,500	370,500	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	69,000	0	69,000	71,500	△ 2,500	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	373,000	0	373,000	0	373,000	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	686,661	△ 686,661	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	16,578,000	0	16,578,000	16,836,104	△ 258,104	
差引	0	0	0	235,210	△ 235,210	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	500,000	0	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 500,000	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	34,415	△ 14,415	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	22,000	0	22,000	21,120	880	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	2,000	0	△ 2,000	13,295	△ 15,295	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。